

## 「ふるさとキャリア教育」では、どのような成果が期待されるの？

社会の中で必要とされる諸能力 意欲・態度・資質を育みます。そして、社会に貢献しようとする市民、大館を支える人財の育成を目指します。



子どもたちは、「ふるさとキャリア教育」を通して、幼児期から地域、学校、家庭など、様々な集団や仲間とのつながりの中で、自分の役割を果たす喜び、誰かの役に立つ喜び、共に生きる喜びを実感することができます。

また、発達に応じて、世の中の実態や厳しさ知ることでもキャリア形成の上で大事な経験となります。

### 自己理解・自己管理能力

### キャリアプランニング能力



### 中央教育審議会が示している「基礎的・汎用的能力」

- 人間関係形成・社会形成能力～多様な他者の考えや立場を理解し、相手の意見を聴いて自分の考えを正確に伝えることができるとともに、自分の置かれている状況を受け止め、役割を果たしつつ他者と協力・協働して社会に参画し、今後の社会を積極的に形成することができる力
- 自己理解・自己管理能力～自分が「できること」「意義を感じること」「したいこと」について、社会との相互関係を保ちつつ、今後の自分自身の可能性を含めた肯定的な理解に基づき主体的に行動すると同時に、自らの思考や感情を律し、かつ、今後の成長のために進んで学ぼうとする力
- 課題対応能力～仕事をやる上での様々な課題を発見・分析し、適切な計画を立ててその課題を処理し、解決することができる力
- キャリアプランニング能力～「働くこと」の意義を理解し、自らが果たす様々な立場や役割との関連を踏まえて「働くこと」を位置付け、多様な生き方に関する様々な情報を適切に取捨選択・活用しながら、自ら主体的に判断してキャリアを形成していく力



地域での様々な活動を通して手応えや自信を得て、将来の生き方や進路に夢や目標を持ち、その実現に向けて学校の生活や学びに意欲的に取り組む姿が期待されます。社会と学校での学びとの関連性を見出し、目的意識のある学びこそ、自ら進路を切り拓く鍵になります。